

本日は朝から雪がちらつき、午後からは強風を伴う雨となりました。

そんな中、今日の午後はMIT（マサチューセッツ工科大学）、ハーバード大学と、有名大学二校を回ることになりました。

MIT キャンパスツアーの案内して下さったのは、王 青陽（おう せいよう）さん。ルーツは中国ですが日本で生まれ育ち、東大を卒業後、現在MIT 大学院に在籍している学生です。経歴を聞き、「とにかくすごい人」という強いインパクトを持ったようですが、話してみると気さくなお兄さんと言った雰囲気。何をする建物なのか、この研究室ではどんなことが行われているかなど、現役の学生ならではのエピソードを交えて案内をしていただきました。見られなかった場所は写真を見せてくれたり、ところどころでクイズを出されたりと、飽きることなくあっという間に時間が過ぎました。一通り構内の案内が終わると空いている教室に入れてもらい、フリーセッションとなりました。ですが、最初はなかなか手が挙がりません。王さんから自分の経験や日本とアメリカの入試の違いなどの話をしていただき、その中で王さんからの投げかけにこたえる形でようやく声が上がりました。高校生活の過ごし方、勉強方法や、東大とMITについてなど王さんだからこそと言う質問に丁寧に時にユーモアも交えて答えて頂き、皆メモを一生懸命取っていました。

MIT から地下鉄で2 駅移動すると、ハーバード大学です。

こちらで案内をしていただいたのは、王 青波（おう せいはい）さん。MIT の王さんの弟さんです。お兄さんから、「次は弟のツアーです」と紹介されており、弟さんも「今日はW王ツアーです」。スケジュールの変更の結果、なんと兄から弟へガイドが引き継がれることに。お兄さんの経歴にびっくりしていた生徒たちは、東大からハーバードと言う弟さんに更に驚き、「こんな兄弟がいるのか・・・」と半ば呆然としていました。本日二回目のキャンパスツアーと言うことで、生徒たちも雰囲気に慣れたのか、王兄弟のおかげなのか、こちらでは最初からリラックスした雰囲気で進みました。雨が強くなる中、遅れない様必死でついて行きながら王さんの声に耳を傾けます。天候を考慮し屋外の施設を手短に回ると、室内で改めて今見た場所について資料を使って説明をしていただきました。質疑応答の時間は、先ほどとは比べものにならないくらい次から次へと質問が止みません。王さんがなぜハーバードを選んだのか、今後どの道に行くのか、今研究している内容についてなど、多くの生徒の手が挙がり「いい質問！」と王さんも時間が許す限り答えて下さいました。興味深かったのはMIT とハーバードはライバルと言われることもあるそうですが、実際は協力関係でもあるということ。そしてお兄さんの研究はハーバードと共同で行っていて、弟さんの研究室もMIT にあるなど、偶然にもこの兄弟を通じて2つの大学の関係性について知ることもできました。

集合写真も撮り終え、一旦終わったかにも見えても生徒が引き留めてまだ質問は続き、彼らの興味を持ったことに対しての熱量の強さを感じた一日でした。



MIT キャンパスツアー



MIT フリーセッション



王 青陽さんと



ハーバード大学キャンパスツアー



資料を見ながらの説明



王 青波さんと